

湊地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/6 14：00～15：30

対 象 町 名：不動町一丁目、二丁目

総参加者数：76名（参加地権者数：58名／66名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（40分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（50分程度）

- ・湊は渡波に移転、他の地区は蛇田の災害公営住宅移転という説明があった。公営住宅への入居はくじ引きになるのか。被災者の中には運転できない人もおり、渡波のような遠方では困る人もいる。被災者を場所で区別しないで、実情に合わせてほしい。  
⇒災害公営住宅については、場所を限定して募集するものではありません。どこの地区であっても、募集がかかった時点で応募することができます。
- ・仮設住宅の入居の時には抽選だった。入居した仮設が嫌で、避難所に戻った人もいる。そういったことがないようにしてほしい。  
⇒仮設住宅の際には、高齢者や体の不自由な方から優先していった結果、そういった事態が生じました。既存コミュニティの維持なども含めて検討し、同じようなことがないようにしていきたいと考えています。
- ・不動町の計画はいまだに明確に示されていない。河川堤防の測量後に決定するという説明であったが、その後の説明は個別に行われるのか。それとも今回のような説明会形式なのか。  
⇒個別に通知を郵送させていただき、説明会を実施したいと考えています。不動町は国交省が早急に測量を行うため、他の地区に比べても計画の進捗は非常に速いと考えています。
- ・川沿いの住宅の場合は、測量が終わり、計画が明らかになるまで手を付けない方が良いのか。  
⇒位置によって変わるため、個別にご相談いただければと思います。

- ・この計画が 25 年先なら立ち退くのだが、5 年先の話と言われると非常に困る。きちんと補償してもらえるのか。この計画はいったい誰のための計画なのか。ここに来ている人は、今苦しんでいる。事業所の移転先は自前で探せと言われても、目の前の生活自体が成り立っていない状況では無理だ。正直、こんな計画は自分が死んでからやってほしい。今の状況では借金することもできない。行政から一方的に計画を示すのではなく、先に住民の意向を聞く方が先だろう。先に移転先の目星をつけ、復興住宅などの整備を行ってから堤防を造るのが筋だろう。

⇒これまで本地区は無堤の状態でした。そのため、今次津波の被害が甚大なものになったものと考えております。市としてこの事実を反省し、子や孫の代に誇れるまちづくりを行おうと、防災面をしっかりとやっていこうと計画した結果、地権者の皆さまには大変なご不便をおかけすることになってしまいました。申し訳ありません。そのため、移転が必要な方に対しては、しっかりと補償させていただきたいと思っております。いろいろな支援をさせていただきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。
- ・演説をやったってしょうがない。9 か月。一向にして具体の話聞くことができない。今日配られたパンフレットも現実的でない。不動町は何色も塗られていない。二線堤を造っても、堤防に挟まれた地区は水につかるだけではないか。20m～30mの高さで堤防を造れば、地盤が 4m 下がる。土木的な視点で、この堤防がどうなるのか聞きたい。今いる人が土地を広く使えるよう、考えてほしい。毎回説明会を行うたびに、このような意見を言われているのではないか。こんなバカげた計画はやめろ。

⇒堤防は川岸に造ります。矢板で止水します。市の計画では、堤防の背後地にポンプ場を造り、排水するものと聞いています。(下流)
- ・台風 15 号でこの地区も水浸しになった。その被害調査も行っていないのだろう。防災担当部局とどのような調整を取ったか。台風が接近した時点で、私は市にどうするか掛け合ったが、大丈夫と言われた。結果、避難しなければならなかった。市の防災部局からは、我々が誘導しろと言われた。まず考えるべきは、将来の話ではなく、今、災害が起こった時の避難ではないか。避難する場所はどこか。避難する道路はどこか。震災以降、何一つ進んでいない。なぜ国はそういうことをやらないのか。目の前に牧山があるにもかかわらず、登れる階段ひとつない(拍手)。明日から手を付けてほしい。

⇒現在の避難については、もう少し、庁内で連携を図ってやっていきたいと思っております。
- ・測量する地点はどこか。測量範囲はすべて堤防になるのか。

⇒測量する段階で、細かい範囲について皆様にご説明いたします。(下流)
- ・堤防にあたった人は、強制的に立ち退くことになるのか。

⇒ご協力をお願いします。(下流)
- ・ようやく家のヘドロを取って、やっと生活できるようになったのに……。市民のことも考えて計画してほしい。相談するというが、はいそうですか、というわけにはい

かない。市から補償金が出ると言っても、どうせ大した額ではないだろうし。  
⇒私は測量のご説明に来ただけで、この後の事業化段階については別の者が担当しています。そのため、この場では細かい位置の説明はできません。この地区をどのように守るか、ということを検討するためにも、測量させていただければと思います。

(下流)

- ・かさ上げる道路はどこか。  
⇒図面に描いているかさ上げ道路は、不動町ではありません。
  
- ・今日、不動町に説明に来たのであれば、不動町の部分を拡大してほしい。この事業には5年～10年かかるだろう。この地区の人は、毎日の地震におびえて暮らしている。今地震が起こっても、避難する場所がない。強く県と国に申し入れて、今住んでいる人の避難場所を、今すぐに造ってほしい。山の上にため池がある。そこも、いつ地震で崩れるかわからない。ため池が決壊したら津波どころの話ではない。山津波が来る。こういうことを皆さんとお話する機会を作ってほしい。今地域では、壊れた集会所を立て直すかどうかを話している。防波堤もありがたいが、先にやるべきことをやってほしい。お願いします。  
⇒日々の復旧について、貴重なご意見をありがとうございます。
  
- ・塩釜市で、景観的な観点から堤防に対する反対運動が起きた。この地区で反対運動がおこった場合、強制的に推進するのか。それとも、期間を延伸するのか。  
⇒明確な回答は控えさせていただきたいと思います。(下流)
  
- ・次回も同じ質問をする。
  
- ・高盛土道路は平面図の通りに整備され、不動町には関係ないと考えてよいか。  
⇒次の説明会でご説明します。
  
- ・河川堤防は住宅地側に造られるのか。それとも河川側に造られるのか。矢板はどちらに来るのか。  
⇒明確なことは申し上げられません。ただ、住吉の経験で言えば、矢板は河川側に設けています。(下流)
  
- ・今回の津波がどのようにこの地区に入ったのか、検討してほしい。不動町はリバーサイド(中瀬)側から入った。河川事務所に聞きに行ったら、リバーサイドの狭窄部分を広げるという話を聞いた。被害を生じないように、検討してほしい。  
⇒津波、高潮、洪水の3つを含めて検討を行っています。(下流)

以上